



◇第69回卒業証書授与式



3月1日（水）、体育館にて第69回卒業証書授与式を執り行いました。吹奏楽部による入場演奏で始まった今年度の卒業式も、多くの御来賓や保護者の方々から祝福いただき、普通科235名、自然科学科79名が



「自由の学園」を巣立ちました。

式辞で、中山校長は、「人は『ありがとう』の数だけ優しくなり、『ごめんなさい』の数だけ賢くなり、『さようなら』の数だけ愛を知る」という言葉を引き、感謝の心や謙虚な心を持ち、人の愛を知って、周りの人との関係を構築しながら新たなステージに向かって進んでほしいと語りました。



その後、在校生を代表して宮崎理央さんが送辞を、卒業生を代表して水野斗音さんが感謝の気持ちを込めて答辞を述べました。

◇社会人講師（21名）による進路講話

3月3日（金）の5・6限、1・2年生を対象とした「社会人講師による進路講話」を開催しました。下記の各種職業に従事している本校卒業生21名の方々に分科会の講師となっただき、高校時代にどんなことを考えどんな道を選んで今の仕事に就いたのか、社会人・職業人としての厳しさや仕事のやり甲斐等々について経験に基づき語っていただきました。

— 講師職業 — [医師／看護師／薬剤師／技術職／弁護士／高等学校教諭／新聞記者／旅行業務／パティシエ／農業経営／幼稚園教諭・保育士／臨床心理士／建築設計士／警察官／営業職／パイロット／公務員／会社経営／テレビ局プロデューサー／環境系アナリスト／アナウンサー]



◇地域課題研究ポスターセッション〈1学年〉



3月8日（水）の1～4限に、体育館で1年生が地域課題研究ポスターセッションを行いました。

総合的な学習の時間を中心に、時間をかけてグループで研究してきた地方創生、防災、環境などの課題について、発表しました。

校外からもこの発表を聴くための来客があり、それぞれのグループは、図表だけでなく実物を提示するなどの工夫をしながらより多くの人に自分たちの研究成果を伝えようと努めていました。



◇京都大学サイエンスフェスティバル総長賞受賞



3月18日(土)、京都大学時計台百周年記念講堂で行われた京都大学サイエンスフェスティバルにおいて、アフリカツメガエルについて課題研究を行った1年G組の5名が、和歌山県代表として発表を行い、京大総長賞を受けました。まだ日本では定着例が報告されていない課題に取り組んでいることや、アフリカツメガエルが冬眠せずに地上を歩くなど知られていなかった事実を見つけたこと、地域の人々とともに池の水を抜いたりして駆除を試みていることなどが評価されました。

当面の予定行事等

- | | |
|------------|-------------------------|
| • 4月 5日(水) | 退任・離任式／新クラス発表／副教材販売 |
| • 4月 7日(金) | 入学式 |
| • 4月10日(月) | 着任式・始業式／英数国等テスト／キャプテン会議 |
| • 4月11日(火) | 1年スタディーサポート、2・3年各種テスト |